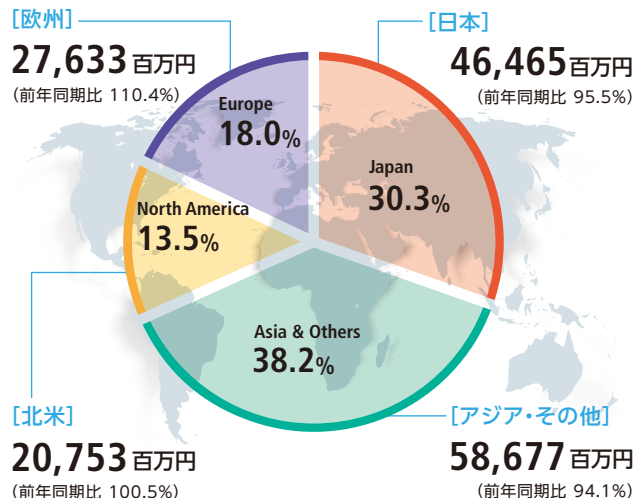


業績ハイライト

科目	第2四半期連結累計期間	
	2017年度	2016年度
経営成績		
売上高	(百万円) 153,528	156,700
営業利益	(百万円) 14,639	13,480
経常利益	(百万円) 13,654	8,227
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(百万円) 9,953	6,387
1株当たり 四半期純利益	(円) 40.41	24.92

売上高の地域別構成比



売上高のセグメント別構成比

システム

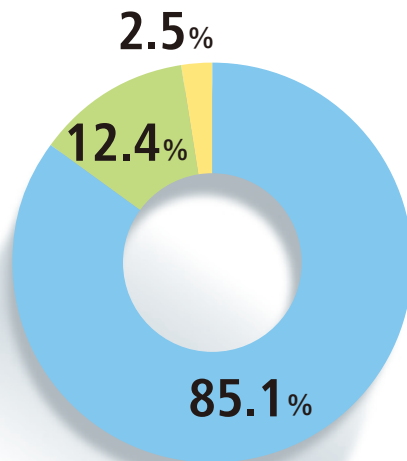
ハンディターミナル、電子レジスター、
オフィス・コンピューター、
データプロジェクター等

売上高 **19,061**百万円
(前年同期比 99.3%)

その他

金型等

売上高 **3,855**百万円
(前年同期比 87.1%)



コンシューマ

ウォッチ、クロック、電子辞書、電卓、
電子文具、電子楽器、デジタルカメラ等

売上高 **130,612**百万円
(前年同期比 98.1%)

合計

153,528百万円
(前年同期比 98.0%)

▶ 当第2四半期連結累計期間の業績概要

当上半期における内外経済は、日本や米国では企業収益の改善、良好な雇用環境などを背景に堅調に推移しました。また、欧州や新興国でも総じて緩やかな回復基調で推移しました。

この環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,535億円となりました。セグメント別内訳は、コンシューマが1,306億円、システムが190億円、その他が38億円となりました。

時計はBluetooth®でスマートフォンと連携する中価格帯の「G-SHOCK」(G-STEEL)、「EDIFICE」の売上が好調

に推移しました。電卓は海外の新入学向け関数電卓が好調に推移しました。

損益につきましては、コンシューマは169億円、システムは5億円、その他は2億円の営業利益となりました。時計は収益性の高い新製品の販売が好調に推移し、高収益性を確保しました。電卓は海外で関数電卓が好調に推移し収益性を確保しました。システムは構造改革効果により大幅改善しました。また、経常利益は136億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は99億円と大幅改善しました。

▶ 通期の業績見通し

現時点での今年度の連結業績予想につきましては、前回予想(2017年5月10日公表)に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を生かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組みます。

2017年度通期業績見通し(連結)

売上高	3,500億円 (前期比 109.0%)
営業利益	340億円 (前期比 111.0%)
経常利益	320億円 (前期比 122.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	225億円 (前期比 122.2%)